

今年度のまとめ

地下熱グループ

研究内容

- ・ 孔井内温度プロファイルの測定
地表面温度変動の復元
- ・ 浅部での長期温度計測（多点）
温度変動の拡散過程を捉える



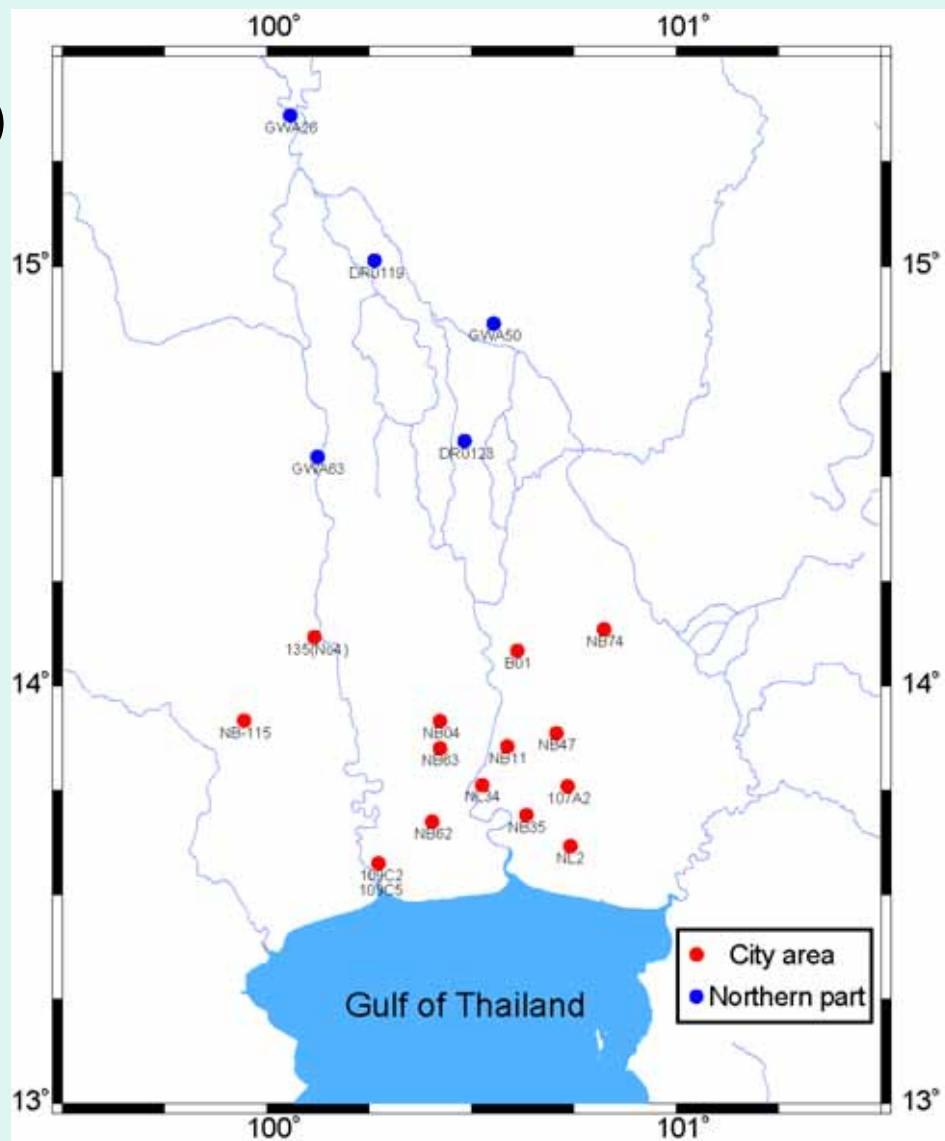
1年～数百年の時間スケールの地表面環境変動を調べる
気温、土地利用の変化、地下水の流動、等

地下温度プロファイルの測定

バンコク（2006年6月）

測定点数 19地点
（繰り返し 6地点）

測定深度 54 ~ 400m
（主に200 ~ 250m）

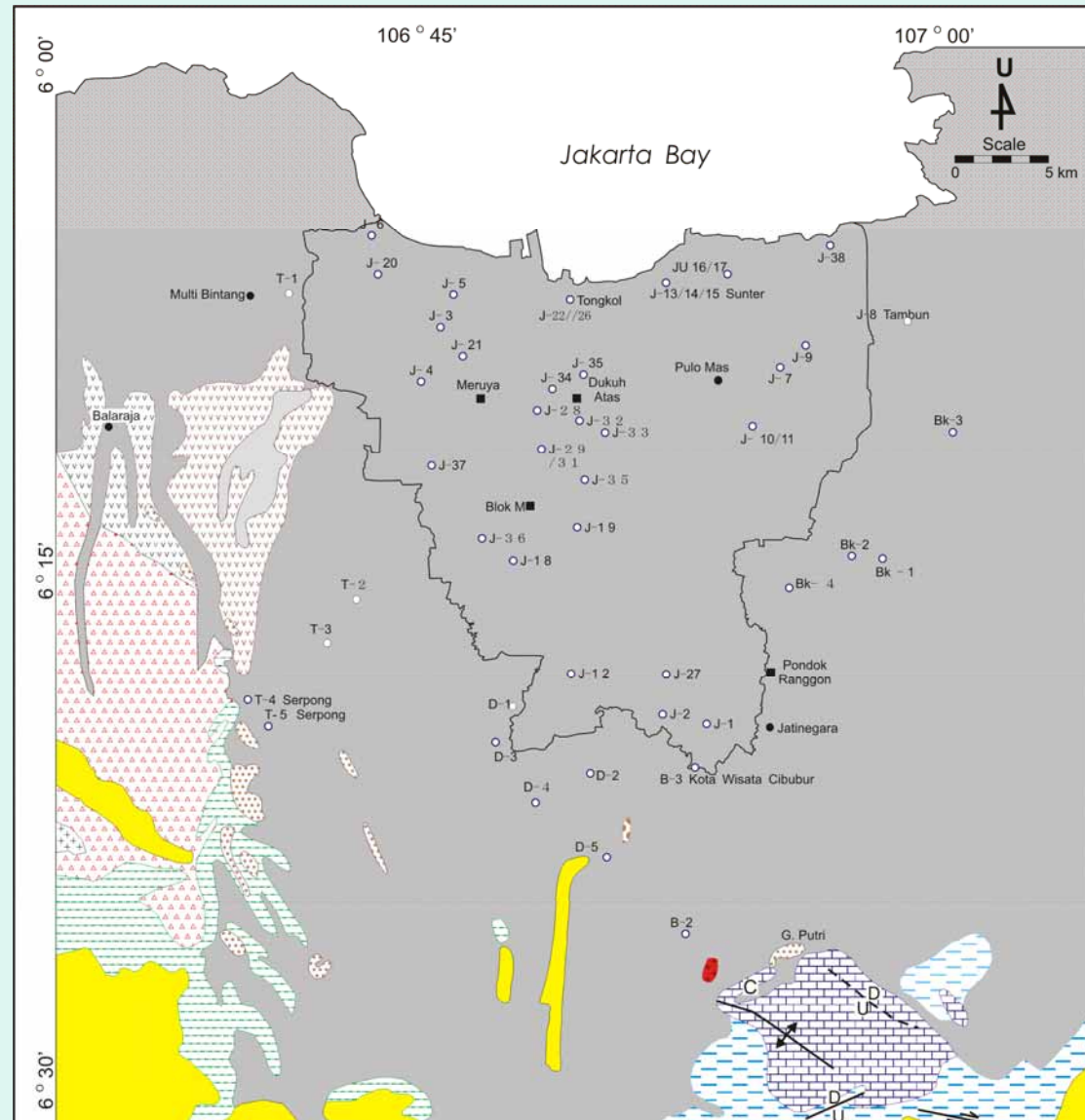


ジャカルタ

(2006年9月)

測定点数 30地点
(繰り返し 28地点)

測定深度 30 ~ 254m
(主に100m前後)



地表面温度変動の復元

予備的な解析が進行中

台北、バンコク、ジャカルタ、ソウル

問題点・課題

地下水流動の影響

地質構造（熱伝導率）についての情報

孔井の深度

気温データの利用

温度の長期計測

土壌温度

孔内温度

水温計

サーミスタケーブル

地下への熱の蓄積（汚染？）

蓄積した熱の利用

地中熱利用冷暖房システム

Discussion

フィールド

どこまでを対象とするのか

都市域の定義（各班共通の調査範囲）

周辺地域との比較も必要

カウンターパートとの関係

共同研究の推進

学生の教育、研究者の養成